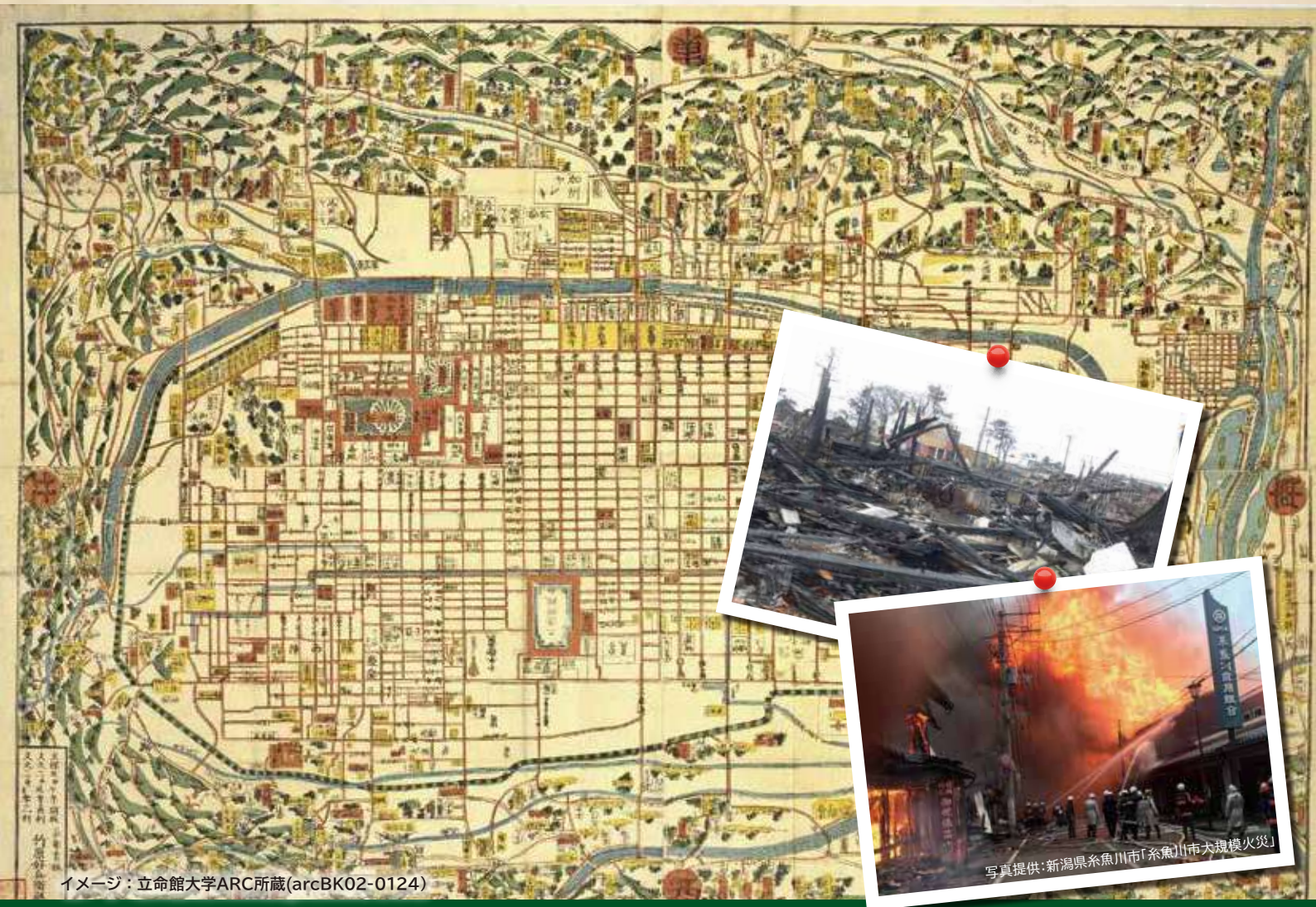
明日の京都
文化遺産プラットフォーム

第10回フォーラム

京都大火災

～火の海に漂うまち：京都～



イメージ：立命館大学ARC所蔵(arcBK02-0124)

令和2年10月11日(日)

立命館大学 朱雀キャンパスホール
14:00～16:45(開場13:15)

入場無料・事前申込み制
応募者多数の場合は抽選
当日は参加証をお持ちの方のみ、ご入場できます

QRコードからも
お申込みできます

お申込み

開会挨拶 松浦 晃一郎(第8代ユネスコ事務局長)

基調講演 「火の海に漂うまち：京都 」
土岐 憲三(立命館大学特別研究フェロー)

閉会挨拶 高見 茂(京都光華女子大学学長)

パネルディスカッション 「京都大火災」
梅垣 浩久(京都市消防局 予防部長)
田中 惠厚(宝鏡寺門跡住職)
丸山 俊明(びわこ学院大学短期大学部教授)
コーディネーター 室﨑 益輝(兵庫県立大学大学院教授)

すべて敬称略

～新型コロナウイルス感染症への対策について～
・ご来場の皆さまの健康と安全を考慮し３密を避けるための対策を講じて開催します。
・ご来場の際は感染防止策へのご協力をお願いします。
・今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催内容を変更する場合があります。

主催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム
後援：京都府　京都市　宇治市　京都新聞　京都府神社庁　（一財）京都仏教会　（公財）京都文化交流コンベンションビューロー

10th 明日の京都 文化遺産プラットフォーム

京都大火災 ～火の海に漂うまち：京都～

京都では976年の山城・近江大地震以降、およそ140年に一度大地震が発生していましたが、1830年の京都西山断層による大地震を最後に約190年間発生していません。これは「今、この瞬間」京都で大地震が起きてもおかしくない危機が迫っているとも言えます。
そして、大地震による脅威の一つである同時多発火災は、細街路が各所に存在し、文化財や町家をはじめとする木造建築が多く残る京都にとって大きな脅威であることは言うまでもありません。京都全域の市街化が進んだ今、文化遺産は燃える市街地の海に漂っているのです。
日本文化の中心と言える京のまち、その人命と文化遺産を災害から守るために私たちに何ができるかを考えます。

登壇者紹介（敬称略）

開会挨拶

松浦 晃一郎
第8代ユネスコ事務局長

基調講演

土岐 憲三
立命館大学 特別研究フェロー

閉会挨拶

高見 茂
京都光華女子大学 学長

パネルディスカッション

梅垣 浩久
京都市消防局 予防部長

田中 惠厚
宝鏡寺門跡 住職

丸山 俊明
びわこ学院大学 短期大学部 教授

コーディネーター

室﨑 益輝
兵庫県立大学大学院 教授

会場アクセス

立命館大学 朱雀キャンパス

- **JR・地下鉄東西線**
  「二条駅」下車、徒歩5分
- **京都市バス・JRバス**
  「千本三条・朱雀立命館前」下車
- **阪急電車大宮駅**
  徒歩約10分

※自動車・バイク・自転車での来場はできません。
公共交通機関を利用して、ご来場ください。

参加証をお持ちの方のみ、ご参加いただけます。

入場料 無料

募集定員 100名程度
※応募者多数の場合は抽選となります。

申込締切 2020年9月30日(水)必着

申込方法
申込みフォーム（HPまたはQR）、FAXのいずれかでお申込みください。当選者の発表は参加証（ハガキ）の発送をもってかえさせていただきます。（落選された方へのご連絡はしておりませんので、ご了承ください。）
複数名でお申込みの方は、代表者の方への発送となります。
参加証は10月1日（木）頃発送予定です。

〈申込みフォーム〉

明日の京都HPまたはQRコードから簡単にお申込みができます　明日の京都文化　検索

参加お申込み

FAX申込用紙　FAX 075-813-8167　2020年9月30日(日)必着

フリガナ

参加者氏名　（年齢）　歳

ご住所　〒

TEL／携帯
（日中に連絡の取れる番号）

E-mailアドレス
@

※複数名の場合、こちらへご記入下さい。

参加者氏名
（フリガナ）
（年齢）
歳

参加者氏名
（フリガナ）
（年齢）
歳

参加人数　計　名

※ご記入頂いた個人情報は、本事業に関するご連絡、その他、主催団体の事業等のご案内にのみ使用いたします。